



外環 JOURNAL

ガイカンジャーナル



NEWS

外環から、最新のお知らせです

東京外かく環状道路(関越〜東名) 事業連絡調整会議を開催しました



【H27年11月現在】 大泉JCT

東京外かく環状道路は、首都圏の渋滞緩和等を実現する上で重要な道路であり、関越自動車道から東名高速道路までの約16kmについては、現在、国土交通省、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)が事業を推進しています。

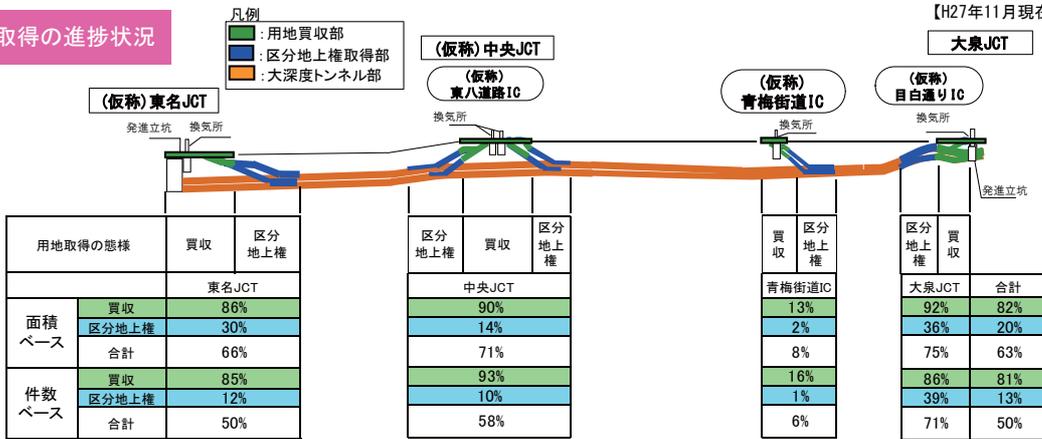
○用地取得、埋蔵文化財調査及び工事等については、以下のような課題があり、特に用地取得に最大限の努力をしていきつつ、国、東京都、NEXCO東日本及びNEXCO中日本との相互協力のもと事業進捗を図り、東京オリンピック・パラリンピック開催までの開通の可能性について、引き続き検討していくこと。

【課題】

- 昨年8月の国土交通大臣、東京都知事による国土交通省と東京都との連絡協議会を受け、東京外かく環状道路(関越〜東名)の事業の推進を図るための協議として、「東京外かく環状道路(関越〜東名)事業連絡調整会議」を設置し、11月12日に第1回会議を、また、12月25日に第2回会議を開催しました。
- 第2回会議では、11月末時点の進捗状況として以下のことを確認しました。
- 用地取得状況
- 埋蔵文化財調査状況
- 全体進捗率(埋蔵文化財の調査済み面積/埋蔵文化財の調査対象面積)で42%。
- 工事進捗状況
- 3JCT部において、本工事に着手済みであること。

○東京オリンピック・パラリンピック開催までの開通のためには、
 ・大泉JCT部の買収部は、平成28年度半ばの用地取得及び埋蔵文化財調査の完了
 ・東名JCT部の買収部は、平成29年度半ばの用地取得及び埋蔵文化財調査の完了
 ・大泉JCT部及び東名JCT部の区分地上権部は平成29年度半ばの用地取得の完了が必要。

用地取得の進捗状況



RELOCATION | 常設会場の移設

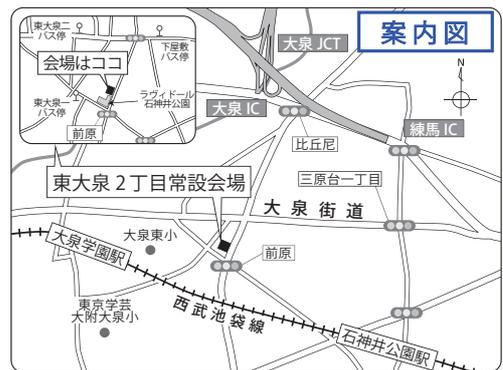
東大泉2丁目常設会場を移設します。

これまで長い間ご利用いただきました東大泉2丁目常設会場は、工事の進捗に伴い、平成28年1月をもって閉鎖し、同町内の別の土地に移設することとなりました。

新しい常設会場は、平成27年12月より工事に着手しており、平成28年3月末の完成を予定しています。

これからも地域への広報活動の拠点として、皆さまに親しまれる施設を目指してまいります。

なお、新しい常設会場は、右の案内図に示す場所に移設する予定です。



外環工事のイマ

シールド掘進準備、進行中

(仮称)東名JCTの本線シールドマシン発進立坑が完成

(仮称)東名JCT部では、本線シールドマシンが発進するための立坑(縦穴)工事が完了し、本線シールドマシンによる掘削のための準備工事を随時進めています。

現在、立坑(縦穴)構築部では、シールドマシンの発進に向けて、エントランスリングの設置等を行っています。

本線シールドマシン発進立坑(縦穴)



準備状況



JCT：高速道路と高速道路を接続する施設。
IC：高速道路と一般道を接続する施設。



(JCT・ICは仮称、開通区間は除く)

大泉JCT工事において発生した事故について

11月21日に大泉JCT立坑工事において発生した事故では、皆様方に多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを誠に申し訳なくお詫び申し上げます。
今後は、再発防止策の徹底に努めてまいります。

大泉JCT・目白通りIC周辺

本線トンネルのシールドマシンが発進するための立坑(縦穴)の工事及び本体との連結路(ランプ)の橋梁工を施工しています。

また、本線工事に伴う準備工事として工事車両が通行するための道路や氷川橋(白子川を渡る目白通りの橋)の改良工(函渠化)等を施工しています。



C 大泉JCT・目白通りIC周辺

中央JCT・東八道路IC周辺

ジャンクシヨンの本体工事に着手しています。

中央道北側では、連結路(ランプ)トンネルのシールドマシンが発進するための立坑(縦穴)及び地下連結路(ランプ)の工事に着手しています。

中央道では、橋梁部連結路(ランプ)の下部工(橋脚)の工事に着手しています。

中央道南側では、連結路(ランプ)トンネルのための立坑(縦穴)工事に先立ちます。

本線シールド掘削マシンの製作状況



巨大シールド掘削マシン、製作状況

シールド掘削に向けて工場で作成中

(仮称)東名JCT部の現場では、本線シールドマシンの組み立てや掘削のための施工基地の整備等を進めています。現在、シールドマシンの設計を終え、工場でも製作を行っています。

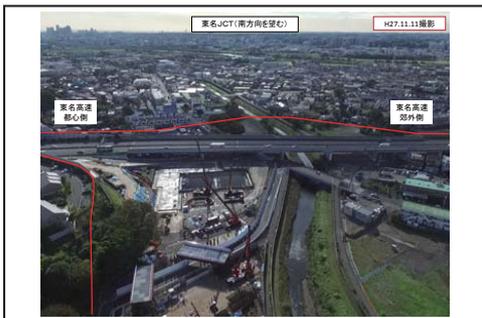
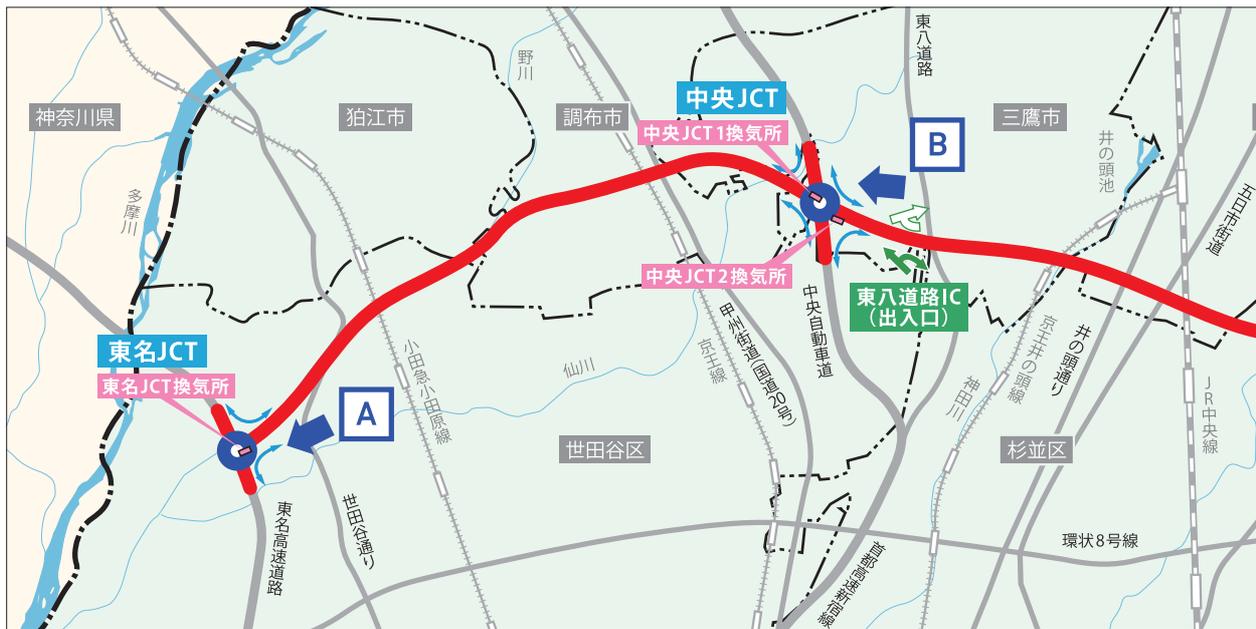
また、シールドマシンで地中を掘り進め、掘削直後にセグメントと呼ばれるパネルを外壁として組み立てますが、このセグメントについても順次製作を進めています。

シールド掘削



工事の状況

平面図



A 東名JCT周辺



B 中央JCT・東八道路IC周辺

東名JCT周辺

本線トンネルのシールドマシンが発進するための立坑(縦穴)の工事が完了いたしました。また、掘削のための施工基地の整備等、準備工事(ヤード整備等)を進めています。

す。ち埋蔵文化財調査の準備を進めていま

埋蔵文化財調査について

東京外環（関越〜東名）では、3つのJCT部で必要に応じて埋蔵文化財調査を実施した後、工事を施工しています。

（仮称）東名JCT予定地において古墳時代の横穴墓群が出土したため、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センターがその発掘調査を実施※1してきました。東京都教育委員会より、発掘調査終了、調査地の引き渡し及び工事に着手して差し支えない旨の通知を受けました※2。

また、世田谷区から、「この横穴墓群を地域の教育的・文化的資源として活用したい」とご意見をいただいたことを踏まえ、最新のデジタル計測技術を活用し、横穴墓群15基について、復元可能とするための3次元データを取得しました。

これを受けて、工事を再開しますが、さらに、当面の工事に影響のない1基については保護しつつ、取得したデータ（復元可能な「型」）を含め、世田谷区と共同で有識者などとの検討会を設け、教育的・文化的資源としてのこれらの活用について検討していく予定です。

※1 調査期間：平成27年8月3日から平成27年10月19日
 ※2 通 知：平成27年10月20日



すえき(ていへい) 古墳時代の須恵器(提瓶)



調査箇所の見学状況



とよまおうけつぼ 殿山横穴墓群について



発掘調査中の横穴墓

埋蔵文化財調査の進捗状況

埋蔵文化財調査対象地のうち着工可能な面積の割合

【H27年11月現在】

	東名JCT	中央JCT	青梅街道IC	大泉JCT	合計
進捗率	34%	51%	0%	64%	42%

調査済み面積
 ※進捗率 = 調査対象面積



縄文時代後期初頭の土器

縄文時代中期の土器

大泉JCT

ぎょく孔い 旧石器時代の玉髄の石器

けつがん 旧石器時代の真岩の石器

各JCTでこれまでに発掘された主な出土品



次号予告

次回以降も引き続き、外環に関する最新のお知らせや外環工事の様子をお伝えしていく予定です。



クイズ

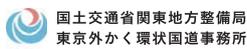
問題

世界で最初のシールドトンネルは、いつ、どの国で造られたでしょうか？

訂正

外環JOURNAL(2015年8月号)に掲載しました環境調査の記事中で、写真下にある説明書きが「環境調査の様子※大気質」となっておりますが、正しくは「環境調査の様子※騒音、振動」です。

お問い合わせ先



〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7階
 TEL 03-3707-3000(代表) FAX 03-3707-3648
 TEL 0120-34-1491
 (外環専用フリーダイヤル 平日9:15~18:00)
 ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>
 e-mailアドレス ktr-gaikan@mlit.go.jp

大泉出張所

〒177-0033 東京都練馬区高野台3-15-1
 TEL 03-5372-2356
 FAX 03-5372-2359



東日本高速道路株式会社
 関東支社 東京外環工事事務所

〒177-0033 東京都練馬区高野台4-1-23
 TEL 03-5923-0962(代表) FAX 03-5923-0963
 TEL 0120-861-305
 (外環専用フリーダイヤル 平日9:00~17:25)
 ホームページ <http://www.e-nexco.co.jp/>
 e-mailアドレス tokyo-gaikan@e-nexco.co.jp



中日本高速道路株式会社
 東京支社 東京工事事務所

〒153-0044 東京都目黒区大橋1-5-1 クロスエアタワー7階
 TEL 03-3770-6280(代表) FAX 03-3770-6281
 TEL 0120-016-285
 (外環専用フリーダイヤル 平日9:00~17:25)
 ホームページ <http://www.c-nexco.co.jp/>
 e-mailアドレス mail-gaikan@c-nexco.co.jp

外環についてのさまざまな資料はホームページでもご覧になれます。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

東京外環 検索